

平成24年度国民保護共同訓練について

国民保護運用室

1. はじめに

国民保護訓練とは、我が国に対する大規模テロや武力攻撃等から国民を保護するために、国民保護措置（住民避難、救援、災害対処等）の主体である国および地方公共団体等の対応能力の向上を目的とした訓練です。我が国近隣では、北朝鮮による弾道ミサイル発射や核実験の実施、また、世界的に見ても、大量破壊兵器の拡散や国際テロ組織の活動が、連日報道されているところです。このような状況の下、あつてはならない万が一の事態において、的確かつ円滑な対応を行うためには、平素から様々な事態を想定した実践的な訓練を実施し、その教訓を積み重ねていくことが必要不可欠です。

国民保護訓練のうち、国と地方公共団体が共同で企画・実施し、その成果を取りまとめるものを国民保護共同訓練といい、各都道府県で3年に1回実施することを想定し、年間15訓練程度を計画しています。共同訓練の特色は政府、都道府県、市町村、消防、警察、自衛隊、医療機関、指定地方公共機関

国民保護共同訓練の実施状況

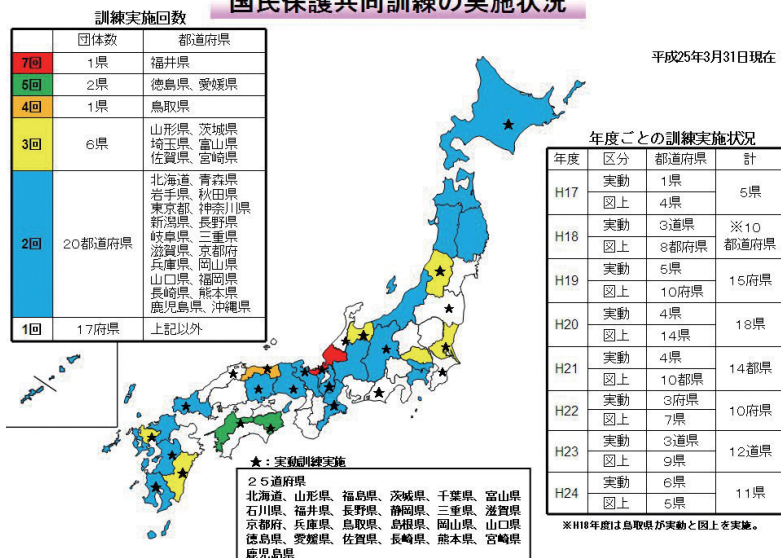


図1 平成17年度～24年度 共同訓練の実施状況

（バス会社等）等多数の機関が訓練の準備段階から連絡調整を図ることにより、関係機関相互の連携を大幅に強化できることです。

表1 平成24年度国民保護共同訓練実施状況

実施都道府県	実施日	種別	シナリオ概要
1 愛媛県	24.7.27	図上	松山市のターミナル駅において、連続的に爆発が起き多数の死傷者が発生、松山空港において爆発物が発見される。その後、犯行グループ（国際的なテロ組織）は同市内の施設に爆発物を所持したまま住民を人質に取り立てこもる。
2 滋賀県	24.10.20	実動	JR東海道本線に仕掛けられた爆弾が爆発し、走行中の車両（4両編成）が脱線・大破して多数の死傷者が発生する。その後、近傍の線路上においても爆発物が発見される。
3 鹿児島県	24.10.25	実動	鹿児島空港国際線ターミナルビル内において、化学物質が散布され多数の死傷者が発生するとともに、空港近隣の宿泊施設で時限式の爆発物が発見される。
4 宮崎県	24.10.27	実動	音楽コンサートの来場者で賑わう宮崎市のサンマリンスタジアムにおいて、テログループによる爆弾テロが敢行され、多数の負傷者が発生するとともに、その症状等から化学剤が混入されたものと判明する。その後、市内の住宅地において、爆発物が積載された放置車両が発見される。
5 三重県	24.11.8	実動	伊勢市の県営サンアリーナでイベント開催中、国籍不明のテログループによる化学剤散布及び爆発物使用のテロ事案が発生し、多数の死傷者が発生する。
6 富山県	24.11.12	実動	射水市の海王丸パークイベント会場において、国際的なテログループによる爆発事案が発生し、多数の死傷者が発生する。更に、同一テログループによる近隣の火力発電所の爆破計画に関する情報がもたらされる。
7 山形県	24.11.20	実動	JR山形駅に到着した電車内及びホームにおいて、化学剤（サリン）が散布され、多数の死傷者が発生する。その後、犯行グループは、駅に隣接するビルの爆破を予告する。
8 沖縄県	25.1.22	図上	那覇市内の大規模集客施設において化学剤散布事案が発生し、多数の死傷者が発生。その後、同市内において、爆発物等を保有したテログループによる立てこもり事案が発生する。
9 岡山県	25.1.30	図上	倉敷市内に所在する複数の商業施設において連続爆破事案が発生。その後、犯行グループは爆発物を所持したまま同市内の児童地区に人質をとり立てこもる。
10 福井県	25.2.1	図上	敦賀港内に接岸中のフェリーにおいて、テログループによる爆破事案等により多数の死傷者が発生する。その後、敦賀半島において、テログループの一員が爆薬と化学剤を所持して山中に潜伏する。
11 徳島県	25.2.8	図上	徳島阿波おどり空港ターミナルにおいて、テログループによる爆発事案が起き、多数の死傷者が発生する。その後、逃走していた同一テログループが爆発物等を所持し、高速バスターミナル（徳島とくとうターミナル）に人質をとり立てこもる。

※実動訓練とは、現地において、実際に各機関等が行動して訓練する方式
※図上訓練とは、地図等を使用し、対策本部での活動要領等を訓練する方式

2. 国民保護共同訓練の実施状況

平成24年度までの共同訓練の実施状況は図1のとおりです。共同訓練と各団体の単独訓練とを組み合わせながら、計画的かつ段階的に成果を積み上げていくことが重要と考えます。

平成24年度は、11県（実動訓練：6県 図上訓練：5県）で実施し、各訓練において多くの成果を得ることができました。（表1参照）以下、平成24年度共同訓練の特徴をいくつか紹介します。

(1) 愛媛県【図上訓練・平成24年7月27日実施】

① 訓練の特徴

政府、消防庁、愛媛県で各対策本部を実設し、国と地方公共団体との情報連絡要領を検証するとともに

に、初動段階におけるテロ対処要領について確認した。

② 参加機関

政府、愛媛県、松山市、警察、消防、自衛隊、医療機関、鉄道事業者 等

③ 訓練会場

愛媛県庁、首相官邸 等



【滋賀県訓練】 爆破車両からの救助



【山形県訓練】 避難所において
柔道用の畳を活用

(2) 滋賀県【実動訓練・平成24年10月20日実施】

① 訓練の特徴

鉄道テロを想定した共同訓練としては初めての実動訓練で、鉄道事業者の初期対応・活動機関相互の連携を確認した。また、共同訓練としては初めてJアラートを使用した住民への警報伝達を実施した。

② 参加機関

政府、滋賀県、野洲市、警察、消防、自衛隊、医療機関、鉄道事業者 等

③ 訓練会場

J R野洲車両基地、野洲市健康福祉センター、済生会滋賀県病院、野洲病院、滋賀県庁、首相官邸 等



【岡山県訓練】 倉敷市対策本部



【徳島県訓練】 現地調整所運営

③ 訓練会場

岡山県庁、倉敷市役所、首相官邸

(3) 山形県【実動訓練・平成24年11月20日実施】

① 訓練の特徴

鉄道駅ホームにおけるテロを想定した共同訓練としては初めての実動訓練で、活動資源（人員・資材）が限られた中での被災者救助、除染及び避難所の設営を実施した。

② 参加機関

政府、山形県、山形市、警察、消防、自衛隊、医療機関、鉄道事業者 等

③ 訓練会場

J R山形駅、霞城セントラル、山形県体育館、山形大学医学部付属病院、山形県立中央病院、篠田総合病院、山形県庁、首相官邸

(5) 徳島県【図上訓練・平成25年2月8日実施】

① 訓練の特徴

訓練参加者にどのような状況が付与されるかを事前に知らせない完全ブラインド方式で実施し、各参加者の判断能力の向上を図ると共に、現地調整所の運営を実践した。

② 参加機関

政府、徳島県、松茂町、警察、消防、自衛隊、海上保安庁、医療機関 等

③ 訓練会場

徳島県庁、首相官邸

(4) 岡山県【図上訓練・平成25年1月30日実施】

① 訓練の特徴

岡山県と倉敷市で対策本部を実設し、県と市の連絡調整を検証すると共に、テロ発生後の混乱防止の対応を検討した。

② 参加機関

政府、岡山県、倉敷市、警察、消防、自衛隊、海上保安庁、医療機関、鉄道事業者 等

3. おわりに

円滑な国民保護措置の実施のためには、様々な機関が適切に役割分担を行い、連携して活動することが重要です。関係機関の皆様におかれましては、平素からの関係機関相互の連携を強化するため、国民保護共同訓練の実施（参加）になお一層のご協力をお願いします。

問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部防災課国民保護運用室 野村
TEL: 03-5253-7551